

# NHKが公共放送として 果たすべき役割とは？

2021年9月4日

立教大学社会学部メディア社会学科教授  
／メディア総合研究所所長

砂川浩慶

[sunakawa@rikkyo.ac.jp](mailto:sunakawa@rikkyo.ac.jp)

# 1.改めてNHKは何を目指すべきか？-放送法と自主基準-

◇放送法に基づき設立される特殊法人

◇放送法 第15条（目的）

協会は、**公共の福祉**のために、**あまねく**日本全国において受信できるように**豊かで、かつ、良い放送番組**による国内基幹放送（国内放送である基幹放送をいう。以下同じ。）を行うとともに、放送及びその受信の進歩発達に必要な業務を行い、あわせて国際放送及び協会国際衛星放送を行うことを目的とする。

◇日本放送協会・国内番組基準（前文）

日本放送協会は、**全国民の基盤に立つ公共放送**の機関として、**何人からも干渉されず、不偏不党の立場**を守って、放送による**言論と表現の自由**を確保し、**豊かで、よい放送**を行うことによって、**公共の福祉の増進と文化の向上に最善**を尽くさなければならない。

# 第1章 放送番組一般の基準

## 第4項 政治・経済

- 1 政治上の諸問題は、公正に取り扱う。
- 2 公職選挙法に基づく政見放送および経歴放送については、法律に従って実施する。
- 3 経済上の諸問題で、一般に重大な影響を与えるおそれのあるものについては、特に慎重を期する。

## 第2章 各種放送番組の基準

### 第5項 報道番組

- 1 言論の自由を維持し、真実を報道する。
- 2 ニュースは、事実を客観的に取り扱い、ゆがめたり、隠したり、また、せん動的な表現はしない。
- 3 ニュースの中に特定の意見をはさむときは、事実と意見とが明らかに区別されるように表現する。
- 4 災害などの緊急事態に際しては、すすんで情報を提供して、人命を守り、災害の予防と拡大防止に寄与するようにつとめる。
- 5 ニュース解説または論評は、ニュースと明確に区別されるように取り扱う。

## 2.NHK報道への評価

### ◇第13回新聞通信調査会調査（2021年1月発表）

- ・実施日：2020年10月30日～11月17日、全国18歳以上3,064人回答

### ■主な調査結果

- ・信頼度は新聞が昨年に続きトップを維持
- ・コロナ禍でのメディア接触、増えたのは民放、ネット、NHK、新聞の順
- ・「情報入手」「役立った情報」は民放がトップ
- ・自粛行動に与えた影響はメディア報道が最多68.0%
- ・コロナ対応、経済より感染対策を61.9%
- ・東京オリ・パラ中止37.9%、延期34.0%、開催26.1%
- ・新聞の購読率は過去最大の低下
- ・ニュース接触は、民放、NHK、ネット、新聞の順

## 「情報入手」「役立つ情報」は民放がトップ

- ・新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手方法を尋ねたところ、「民放テレビ(公式サイトも含む)」が最も多く 78.6%,以下,「NHK テレビ(同)」59.5%,「ポータルサイト(Yahoo!,Google など)」41.7%,「家族や友人」32.4%,「新聞(全国紙)(同)」31.4%,「新聞(地方紙)(同)」28.3%,「お住まいの都道府県や市区町村のホームページ」27.5%,「SNS(LINE, Twitter, Facebook など)」26.6%となった(複数回答)

- ・新型コロナウイルス感染症に関する情報で役に立ったものを尋ねたところ、「民放テレビ」が最も多く 61.8%,以下,「NHK テレビ」47.0%,「ポータルサイト」28.9%,「新聞(全国紙)」23.6%,「新聞(地方紙)」21.2%など(複数回答)。民放テレビが多かった背景には、情報番組の視聴が考えられる。

- ・各メディアの新型コロナウイルス報道の印象を尋ねたところ、「情報が正確だった」ではNHK テレビが1位に、「必要な情報を伝えていた」「科学的でわかりやすかった」「東京や大阪など一部の地域ばかりを取り上げていた」「政府の批判ばかりしていた」「不確かな情報で煽っておっていた」「感染者のプライバシーを侵害していた」では民放テレビが1位になった(複数回答)。良い印象も悪い印象も「民放テレビ」が他のメディアより強い結果となった。

「政府の批判ばかりしていた」民放テレビ47.6%、NHKテレビ8.7%

## ニュース接触は、民放、NHK、ネット、新聞の順

- ニュースとの接触状況について尋ねた。それぞれのニュースを週に何日かでも読む・見聞きすると答えた接触率が高い順に、民放テレビのニュースが87.9%、NHKテレビのニュースが73.7%、インターネットのニュースが71.6%、新聞が60.9%、ラジオのニュースが29.9%となった。
- そのうち、毎日の接触率は、民放テレビのニュースが54.2%、インターネットのニュースが48.2%、新聞が41.8%、NHKテレビのニュースが37.3%、ラジオのニュースが8.7%となった。
- ニュース接触率、毎日の接触率ともに、新聞、NHKテレビのニュース、民放テレビのニュース、ラジオのニュースは、2018年度から低下が続いた。インターネットのニュースは2018年度から上昇が続いた。

## 《各メディアの印象・信頼度》

1. 各メディアの情報の信頼度は？

- 1位「新聞」69.2点、2位「NHK テレビ」69.0点、3位「民放テレビ」62.0点

## 《新型コロナウイルス感染症》

6. 新型コロナが広がる前後でのメディア接触の変化は？

- 増えたのは「民放テレビ」「インターネット」「NHK テレビ」「新聞」の順

7. 各メディアの新型コロナ報道の印象は？

- 民放テレビの印象強く

8. 新型コロナに関する情報入手方法は？

- 「民放テレビ」79%、「NHK テレビ」60%

9. 新型コロナに関する情報入手で有益に感じたメディアは？

- 「民放テレビ」62%、「NHK テレビ」47%

18. 大きなニュースを入手するメディアは？

- 「民放テレビ」75%、「インターネット」62%、「NHK テレビ」54%、「新聞」43%

19. どのメディアで各分野の情報を得る？

- 全分野で民放テレビが1位、「地域に関すること」は新聞が2位



◇NHK報道への批判記事

[世論調査が浮き彫りにした菅内閣・オリパラ・NHKの“崖っぷち”](#)（YAHOO!ニュース、2021年5月12日）

- 鈴木祐司：次世代メディア研究所代表／メディアアナリスト

### 3. 果たしていない役割

◇最大の問題は、「報じない公共放送」

- ・ニュース番組で顕著な「権力監視」の欠如

「いま伝えなければならないことを、いま、伝える。いま言わなければならないことを、いま、言う」（新井直之氏）

「政府を批判しない新聞は存在する意味がない」  
（キャサリン・グラハム・ワシントンポスト社長）

・政府に都合の悪いニュースは深夜のニュースに滑り込ませる。そうすると朝1の「おはよう日本」には残るんです。7時にはなくなりますが。報道幹部が見ない時間が勝負です。（現役NHK報道担当）

# NHK2022年度新卒採用HP

求む!進化する公共メディアの  
開拓者たち



## 求める人財

公共メディアへの進化を目指すNHKでは、常に視聴者と真摯に向き合い、幅広い視野で専門性を磨きながら、「新しいNHKらしさ」を一緒に創り出しているプロフェッショナル集団の一員＝「公共メディア プロ人財」となれる人財を募集します。

### 「公共メディア プロ人財」とは

- |             |     |                          |
|-------------|-----|--------------------------|
| 公共性         | ——— | 視聴者と真摯に向き合い、地域や社会に貢献する姿勢 |
| 次世代メディアへの進化 | —   | デジタル展開など新たなチャレンジを追求する意欲  |
| プロフェッショナル   | ——— | 幅広い視野で高度な専門性を磨いていける資質    |